



2020.9.30

船長よりファンド仲間の皆さまへ

代表取締役社長 澤上 龍

国内の信託銀行2社が運用会社等からの議決権行使を不正処理していたとの報道がありました。株主そしてその代理を務める運用会社にとって、議決権行使は非常に重要な意思表明・決定の機会です。露呈した信託銀行の不正は、集計作業の負担を減らすための完全な自社都合、信託の名を汚すあるまじき行為です。結果的に各企業・議案の賛否に影響を与えなかったとのことですが、だからと言って許されることではありません。

世の中の議決権行使状況は、おそらくその3~4割は代行企業が担っていると思われます。インテックスファンドが台頭し、運用会社が個別議案を精査する時間・能力が不足していることが背景にあります。無論、代行企業は一定のポリシーに則って議決権の代理行使をしていると考えられますが、しかしその実、画一的となっている可能性も否定できず、資本市場のダイナミズムに欠けた結果を齎しているのでしょう。

皆さまのさわかみファンドは、企業を応援し共に未来をつくっていかうと本気で考える運用を行っています。よって通常の調査・運用業務はもちろん、議決権行使においても一社一議案毎に妥協せず取り組んでおります。仮に膨大な時間となろうとも、皆さまそして未来の大切な意思決定機会をないがしろにするわけにはいかないのです。

9月末日となる本日、さわかみファンドの議決権行使状況をホームページにて公開いたしました。投資先企業的全議案についてその賛否、そして理由(反対票は全て、必要に応じ賛成票にも)を記載しております。ファンド設定来続けているフルディスクローズに加え、さわかみファンドは完全ガラス張りです。皆さまよりお電話などで詳細を伺われても個別企業・議案に関することなのでお答えできかねる部分もありますが、是非とも一度ご覧いただきたく思います。

今月の航海日誌

取締役最高投資責任者 草刈 貴弘

9月に入り、米国市場を中心に成長(グロース)株偏重から割安・景気敏感(バリュウ)株に資金移動が見られました。米国ナスダック総合指数は、9月2日をピークに3営業日ほど大きく下げた後は一進一退となっていますが、それまでの上昇トレンドは一服しているようです。ソフトバンクGによるオプションの大量購入、大手IT企業への株式投資などの報道に加えて、次世代エネルギー車を事業とする企業に対して、それまでの評価を覆すような報道が冷や水を浴びせた格好です。そのような市場環境の下、今月は買いを5件5億円(うち新規組入れ1社)、売りを10件22億円行いました(9月29日現在)。買いは基本的にはITに関連する企業で、売りは株価が上昇しweightが高くなっている企業のポジション調整で利益確定を行ったものです。

米国の新規失業保険申請件数が想定ほど減少しておらず高止まりしていること、失業保険継続受給者数も未だに1,250万人を超えていること(リーマンショック時のピークで660万人)など、回復への懸念がくすぶっていることが考えられます。大統領選を控え、党派対立によって給付金などの政策がまとまらず、家計の手元資金が減少し消費が減速する可能性や急増した個人投資家の離脱も想定されます。欧州では新型コロナの感染者数が急増し、4月のピークを超える国も出てきていることから、再び行動制限される懸念があり欧州市場も上値を抑えてしまっています。日本においては、新総理誕生で通信業界への値下げ要請などが重くなったものの、デジタル化などの課題克服に向けての動き、新規感染者数の抑制と経済活動再開への配慮が下支えています。一方で、支給金などのコロナ対策で市中に出されたお金の多くが預金に戻ってしまっており、企業への融資の伸び以上です。財務的には健全なのですが、お金が回らない状況というのは変わっていません。また、飲食・宿泊・娯楽・小売り・生活関連といった業種は未だに回復できていなかったり、明暗が分かれてしまったりと苦しい状況が続いている企業も多く存在しているため油断はできません。

世界中が注目する米国大統領選挙が本番を迎え、市場は様々な懸念と期待を交え大きく変動すると考えられます。ここは21期の反省を活かして積極的にかつ柔軟に行動していきたいと考えています。

ファンド情報

2020年9月29日現在

顧客数(直販分)

116,995名(直近1か月 -13名)

定期定額購入 契約数

36,235名(全体比31.0%)

定期定額購入サービススケジュール

受付締切日(金額変更・中止):2020年10月20日(火)

振替日(引落日):2020年11月2日(月)

約定日(買付日):2020年11月11日(水)

約定日(買付日)とは…

振替日に引き落とされた金額によって、実際に『さわかみファンド』の買付が行われる日(約定日の基準価額が約定価額となります。)

お知らせ

2016年分NISA口座 「非課税期間終了」のお知らせ

2016年にNISA口座でご購入いただいた投資信託は、2020年末に非課税期間が終了します。対象者の方には書類をお送りいたしましたので、非課税期間の延長希望の方は、お早めにご返送をお願いいたします。また、「ロールオーバーって何?」「何をすればいいの?」などご相談がございましたら、弊社「ご縁の窓口」が全面的にサポートいたします!

■ 翌年の非課税口座枠への移管(ロールオーバー)の場合

先日お送りいたしました「非課税期間終了に伴う非課税口座内上場株式等移管依頼書」に必要事項を記入し、返信用封筒にて当社までご提出ください。

—————【提出期限(当社必着)】—————

2021年NISA口座未開設の方 :2020年11月13日(金)

2021年NISA口座開設済みの方:2020年12月18日(金)

■ 課税口座への移管の場合

「非課税期間終了に伴う非課税口座内上場株式等移管依頼書」のご提出は不要となります。

2021年1月1日に、2020年12月最終営業日の時価により課税口座へ移管されます。

お気軽に「ご縁の窓口」までご連絡ください。

ご縁の窓口 (営業時間 平日8:45~17:30)

 03-6706-4789